

さりげない安心と感動する制動を



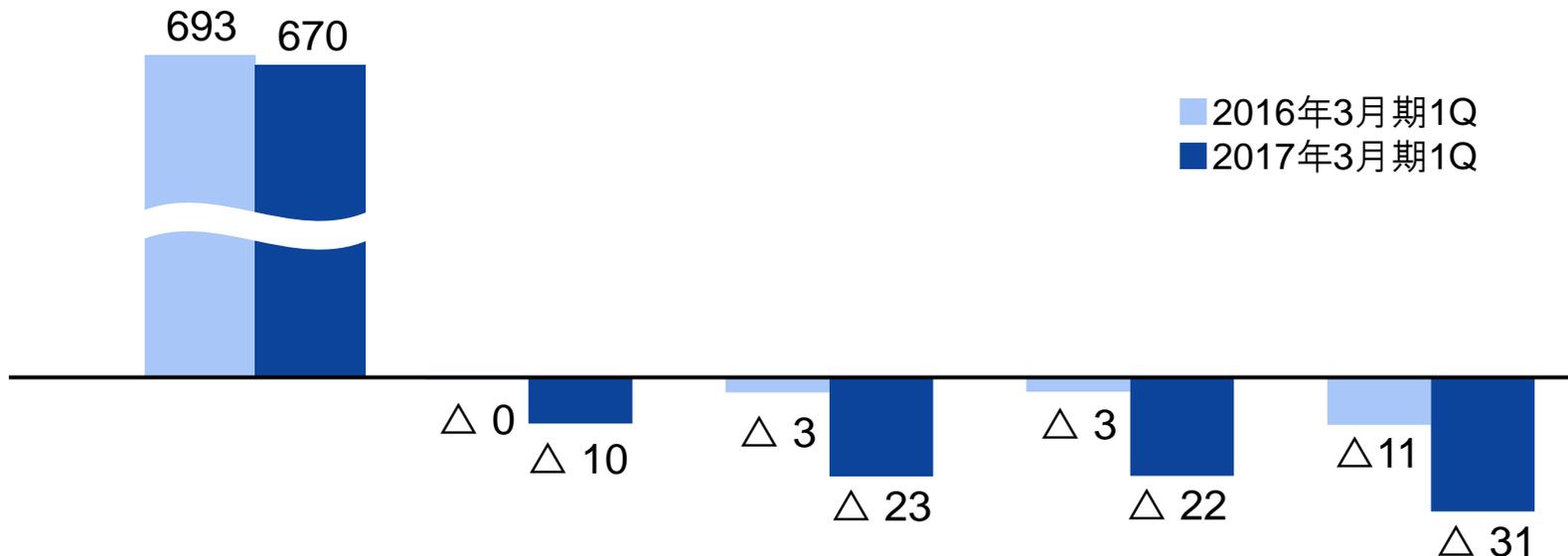
# 2017年3月期 第1四半期(1Q) 決算説明会資料

2016年8月8日  
曙ブレーキ工業株式会社

# 2017年3月期1Q：連結業績(対前年同期)

北米の落込みにより1Q時点では損失が拡大

単位:億円

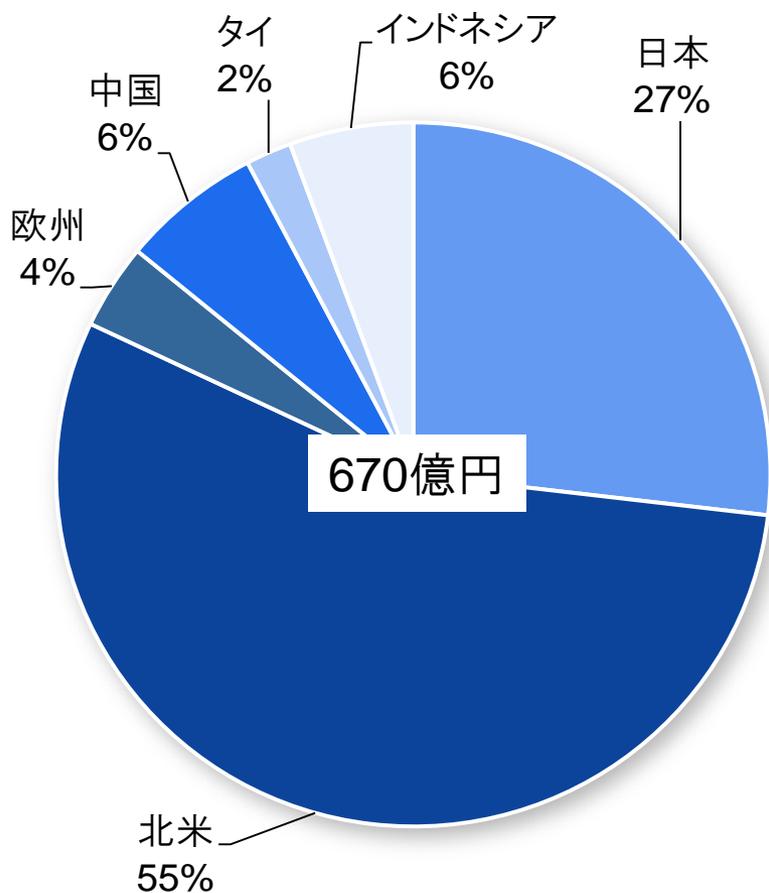


	売上高	営業利益	経常利益	税前三半期純利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
16年3月期1Q	693	△ 0	△ 3	△ 3	△ 11
17年3月期1Q	670	△ 10	△ 23	△ 22	△ 31
前年差	△ 23	△ 10	△ 19	△ 19	△ 20

# 2017年3月期1Q：売上高〔地域別〕

海外比率が全体の73%

## ＜2017年3月期1Q 実績＞



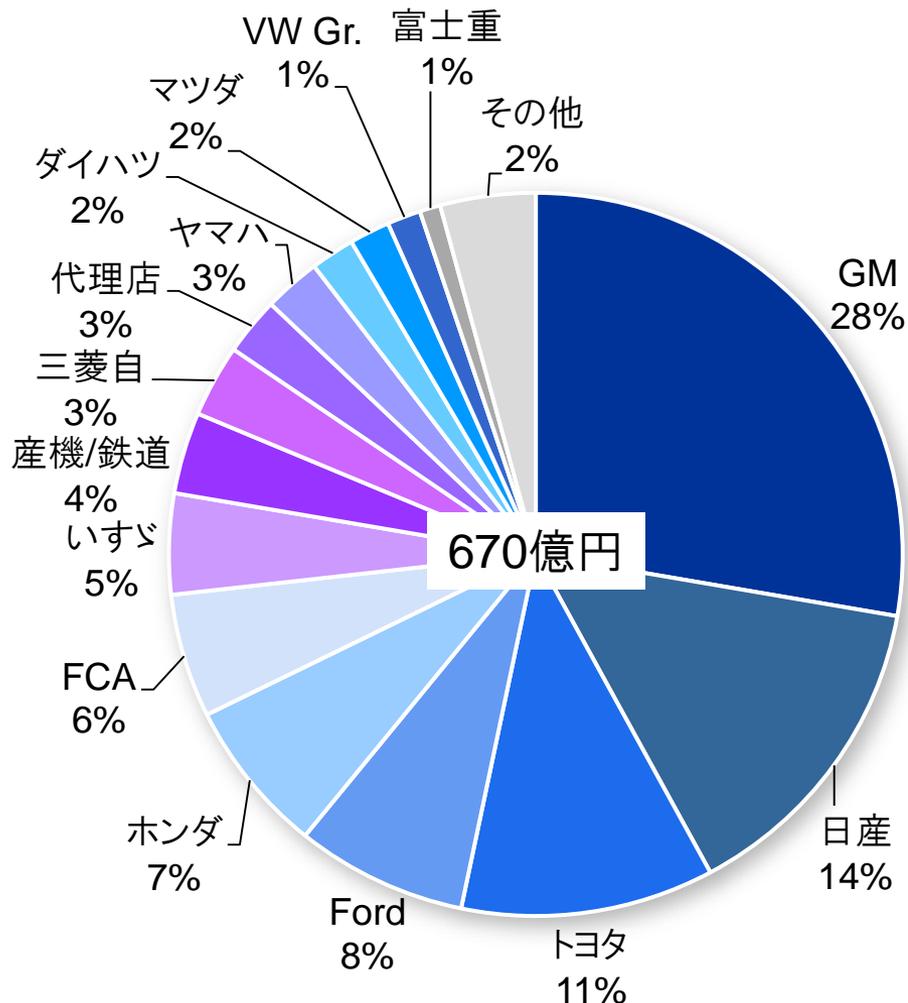
単位:億円

	16/3期 1Q	17/3期 1Q	差	為替 換算 影響
日本	207	196	△11	—
北米	408	402	△6	△12
欧州	24	28	+4	△3
中国	43	46	+3	△4
タイ	18	15	△3	△2
インドネシア	41	41	△0	△3
アジア計	102	102	+0	△9
小計	742	728	△13	△24
連結消去	△48	△58	△9	—
合計	693	670	△23	△24

# 2017年3月期1Q：売上高 [お客様別]

## GM、日産、トヨタで過半を占める

### < 2017年3月期1Q 実績 >



	16/3期 1Q	17/3期 1Q
GM	28%	28%
日産	13%	14%
トヨタ	11%	11%
Ford	7%	8%
ホンダ	6%	7%
FCA(旧Chrysler)	7%	6%
いすゞ	5%	5%
産機/鉄道	4%	4%
三菱自	4%	3%
代理店	2%	3%
その他	13%	11%
合計	100%	100%

# 2017年3月期1Q：地域別の状況(対前年同期)

国内減収も利益微増、北米は為替換算の影響大きく減収

単位:億円

	売上高			
	16/3期1Q	17/3期1Q	前年差	為替
日本	207	196	△ 11	-
米国	407	400	△ 7	△ 12
メキシコ	1	2	+0	△ 0
欧州	24	28	+4	△ 3
中国	43	46	+3	△ 4
タイ	18	15	△ 3	△ 2
インドネシア	41	41	△ 0	△ 3
アジア	102	102	+0	△ 9
連結消去	△ 48	△ 58	△ 10	-
合計	693	670	△ 23	△ 24

	営業利益			
	16/3期1Q	17/3期1Q	前年差	為替
	6	7	+1	-
	△ 15	△ 25	△ 10	+1
	△ 1	△ 1	△ 0	+0
	△ 2	△ 3	△ 1	+0
	4	6	+3	△ 1
	2	1	△ 1	△ 0
	4	3	△ 1	△ 0
	10	10	+1	△ 1
	1	1	+0	-
合計	△ 0	△ 10	△ 10	0

為替 USD:119.2⇒115.7 EUR:135.0⇒121.5 CNY:19.1⇒17.7 THB:3.7⇒3.3 IDR:0.0093⇒0.0086

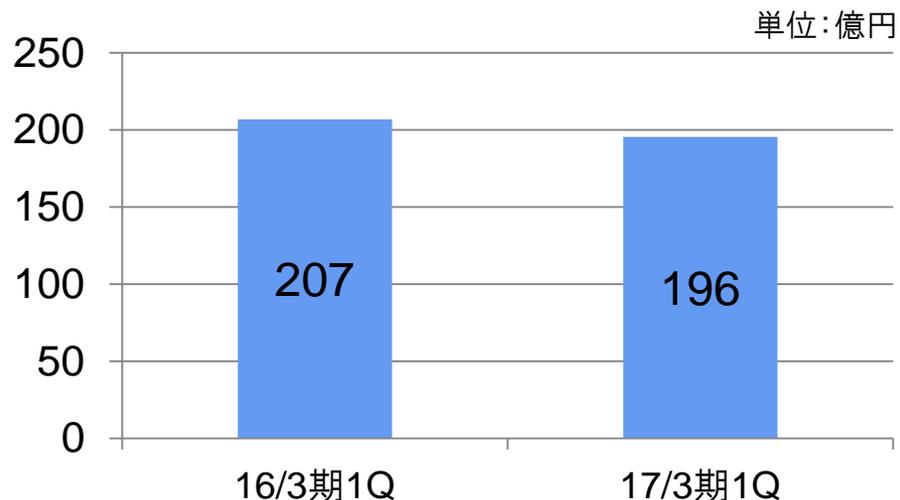
<現地通貨ベース>	売上高		
	16/3期1Q	17/3期1Q	前年差
米国: \$ mil.	341	346	+5
メキシコ: \$ mil.	1	2	+0
欧州: EUR mil.	18	23	+5
中国: CNY mil.	227	262	+36
タイ: THB mil.	482	466	△ 17
インドネシア: IDR bil.	442	475	+33

	営業利益		
	16/3期1Q	17/3期1Q	前年差
	△ 12	△ 22	△ 9
	△ 1	△ 1	△ 0
	△ 1	△ 2	△ 1
	19	37	+18
	43	22	△ 21
	46	37	△ 10

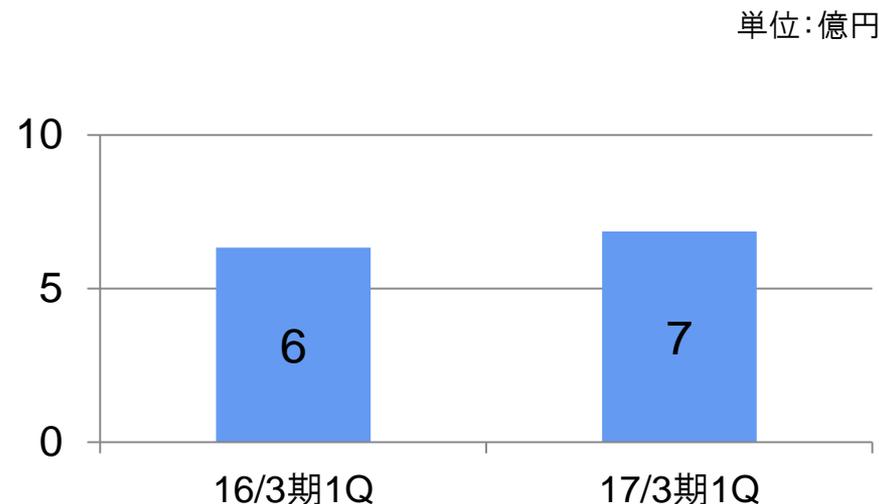
# 2017年3月期1Q：各地域の状況

## 日本

### 売上高



### 営業利益



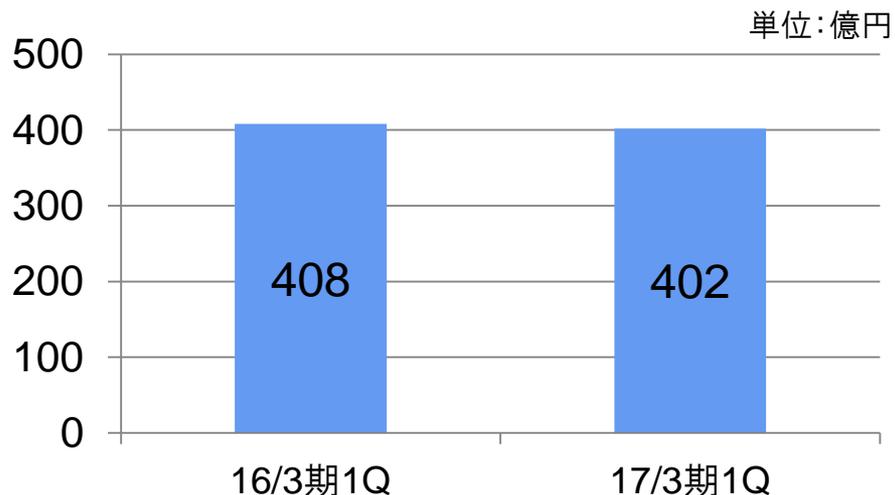
- OEM:  
乗用車新モデル(トヨタ)による受注増(+2億円)  
商用車主力車種(ふそう他)の打切り(△7億円)  
燃費不正問題による生産停止(△3億円)
- 補修品:  
国内市販向けの受注増(+3億円)

- 労務費減(+2億円)
- 生産・調達合理化(+3億円)
- 受注減(△3億円)

# 2017年3月期1Q：各地域の状況

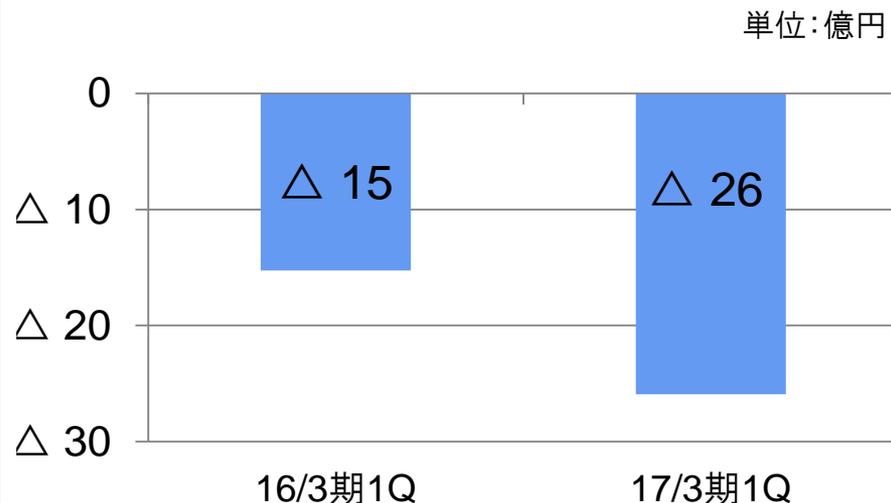
## 北米

### 売上高



- SUVを中心に販売が好調(+5億円)  
VW Gr.(+5億円) ホンダ(+8億円)  
日産(+3億円) FCA(△8億円)  
三菱自(△3億円)
- 為替換算影響(△12億円)

### 営業利益



- コンサルタント費用(△10億円)
- 労務費(△9億円)
- 合理化(+4億円)
- 減価償却費(+4億円)
- 為替換算影響(+1億円)

# 2017年3月期1Q：米国の進捗状況（1月～6月）

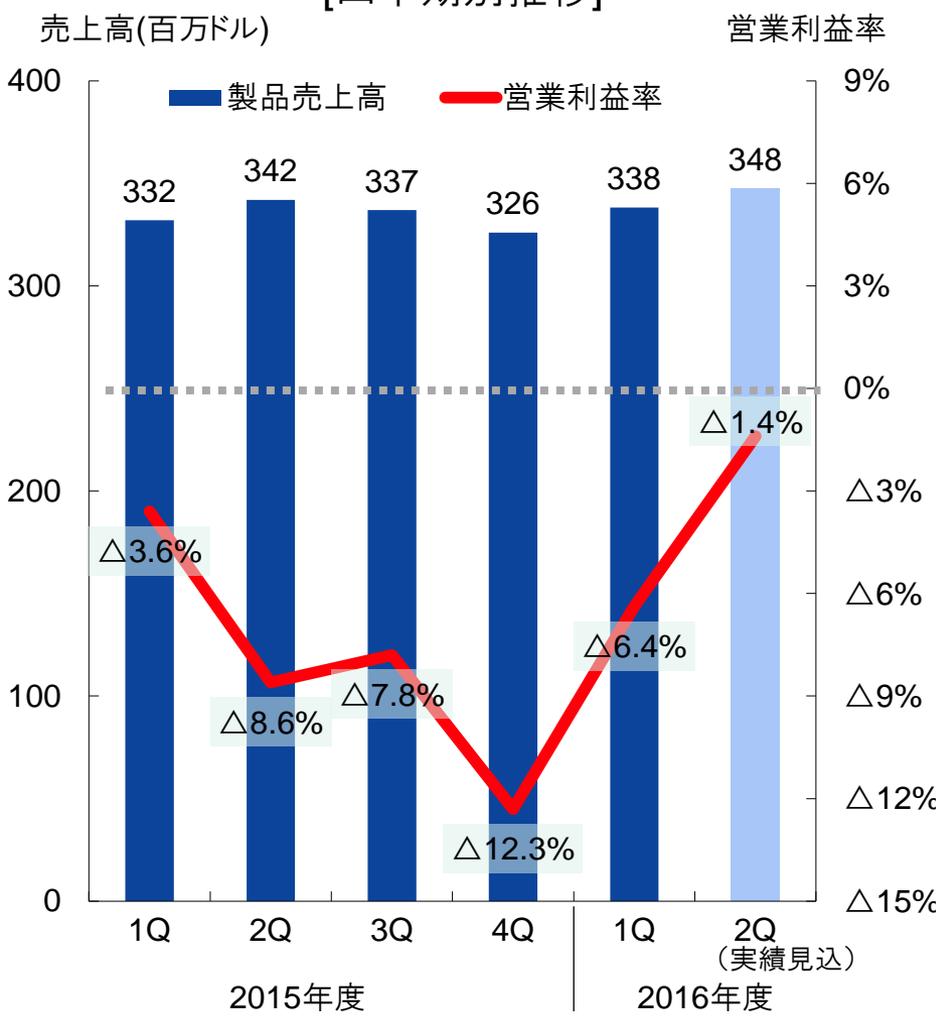
## 米国の業績黒字化に向けた展開

	施策	具体的展開	効果
1	組織・管理体制の抜本的改革	<u>現地主導によるマネジメント体制強化</u> <ul style="list-style-type: none"><li>企業再建実績のあるCEOと経験豊富なCFOの採用</li><li>工場長（ABEおよびABG）の採用</li><li>プログラムマネージャーの採用</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ガバナンス体制強化</li><li>課題抽出力向上</li><li>従業員の意識改革</li></ul>
2	生産性改善	<u>生産負荷低減</u> <ul style="list-style-type: none"><li>一部生産品目を他生産拠点に移管</li><li>コンサルタントと改善活動を推進</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ABEおよびABGの生産性改善（3直7日から3直6日稼働）</li><li>計画的な保全活動の実施</li><li>生産効率の向上</li><li>品質管理の改善</li><li>緊急輸送費の削減</li></ul>
3	生産能力増強	<u>新規設備導入</u> <ul style="list-style-type: none"><li>ABCSに新規生産設備を導入（本格的稼働は本年10月以降）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>緊急輸送費の回避</li><li>欧米を中心とした需要拡大への対応</li></ul>
4	販売価格と仕入れ価格の適正化	<u>価格交渉</u> <ul style="list-style-type: none"><li>完成車メーカーへの販売価格</li><li>部品供給元からの仕入れ価格</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>下期以降の業績への貢献を見込む</li></ul>

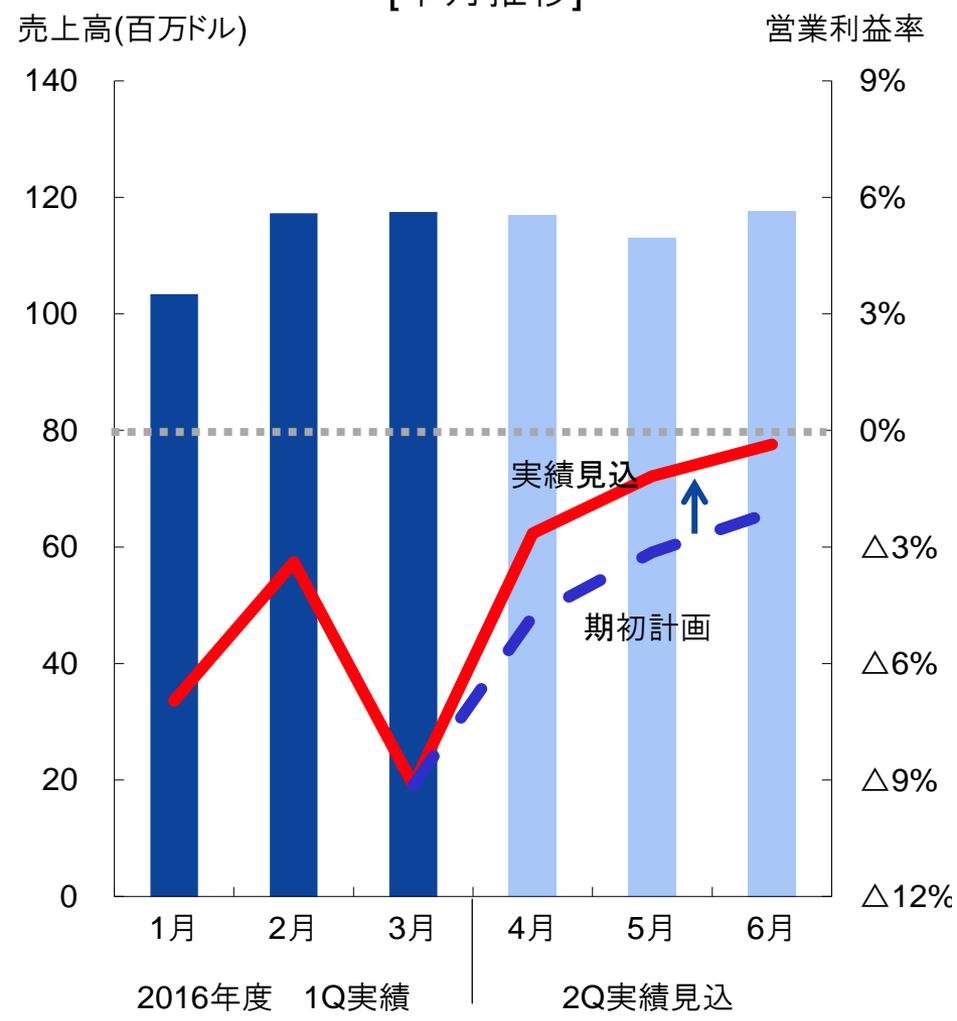
# 2017年3月期1Q：米国の進捗状況(1月～6月)

## 製品売上高・営業利益率推移〔米国会計基準、連結調整前〕

[四半期別推移]



[単月推移]

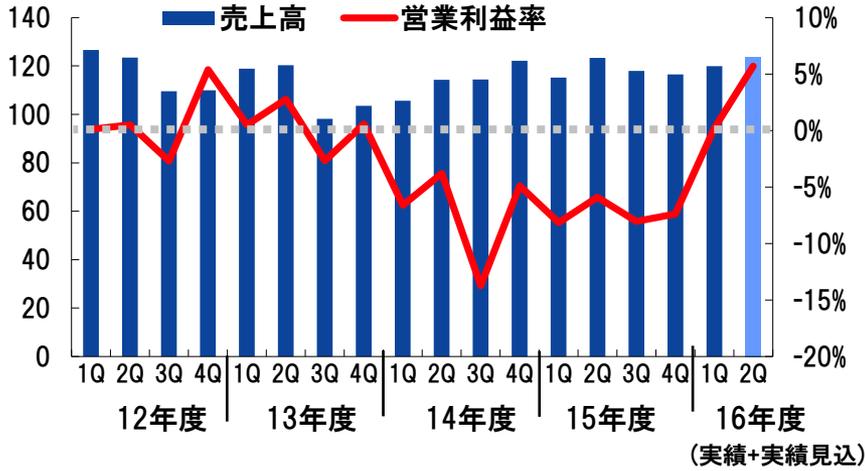


# 2017年3月期1Q：米国の拠点別推移

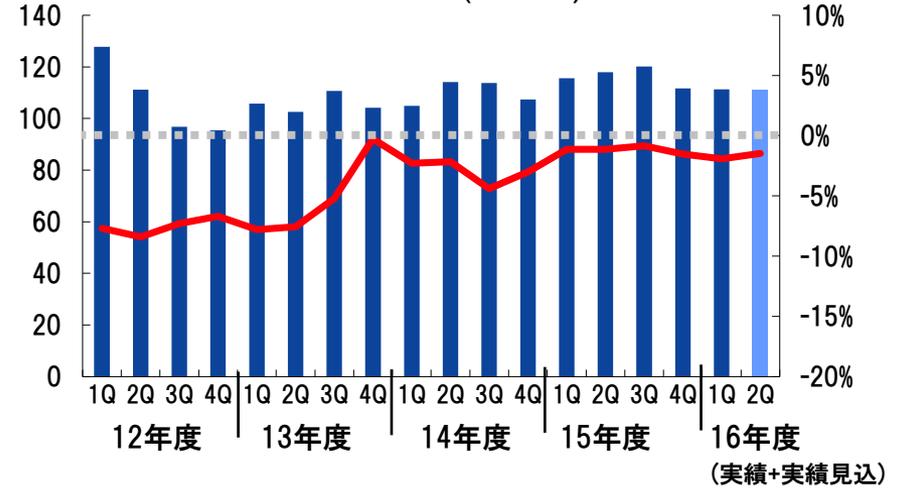
## 売上高・営業利益率推移

単位：百万ドル

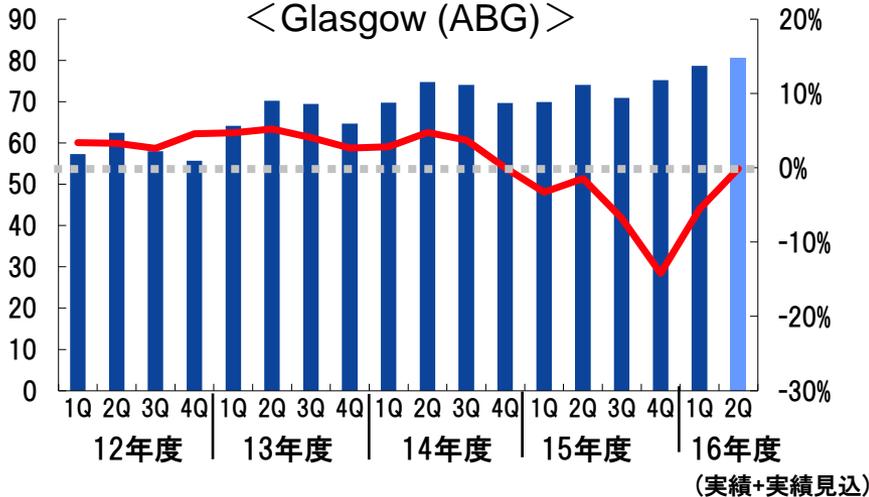
< Elizabethtown (ABE) >



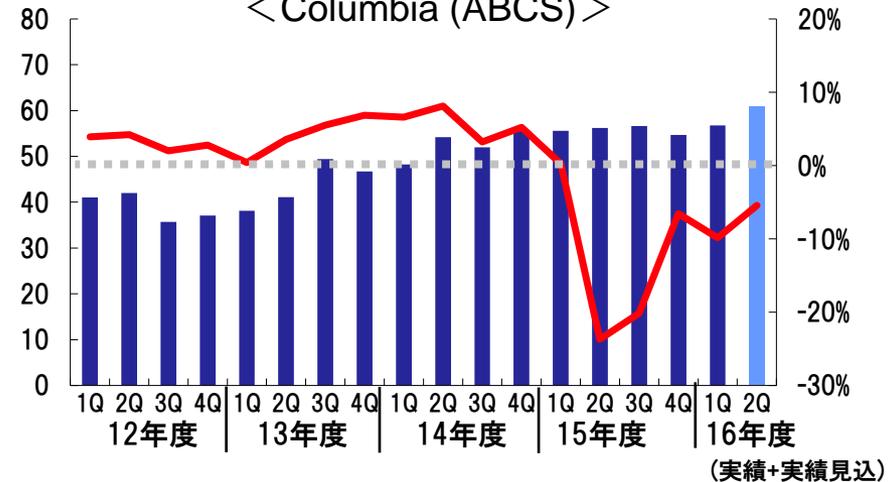
< Clarksville (ABCT) >



< Glasgow (ABG) >



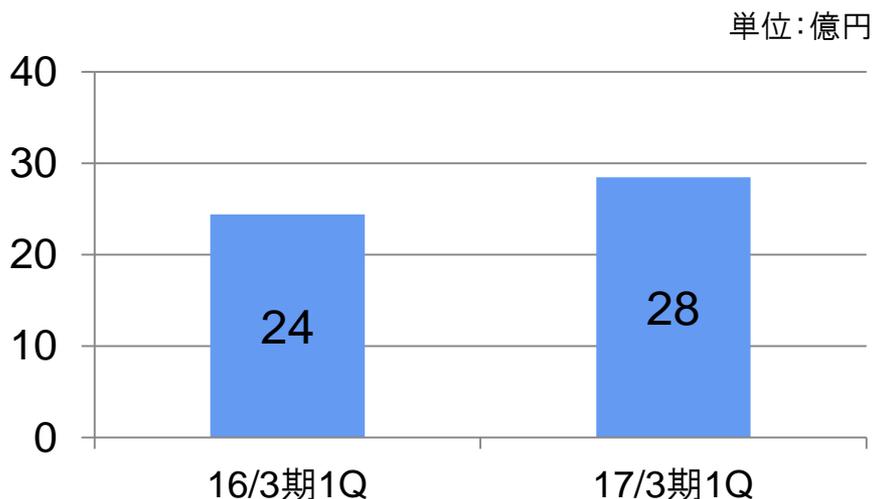
< Columbia (ABCS) >



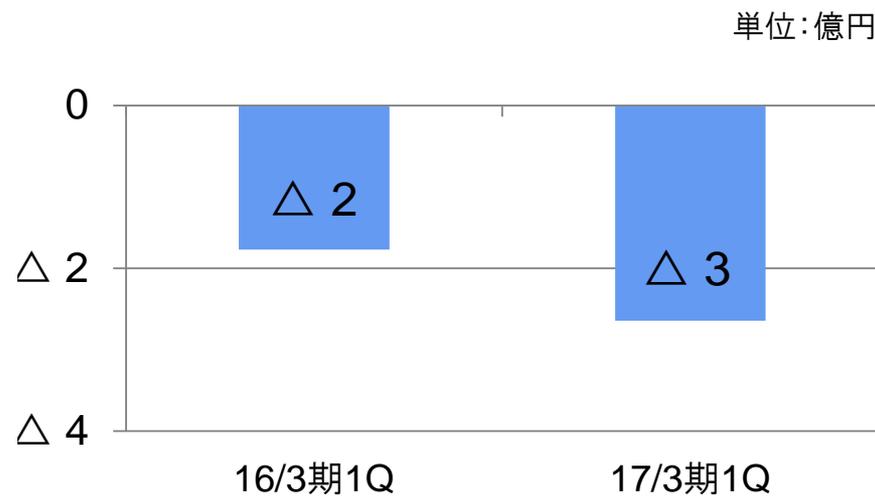
# 2017年3月期1Q：各地域の状況

## 欧州

### 売上高



### 営業利益



- GPF\*車の受注増(+8億円)
- 為替換算影響(△3億円)

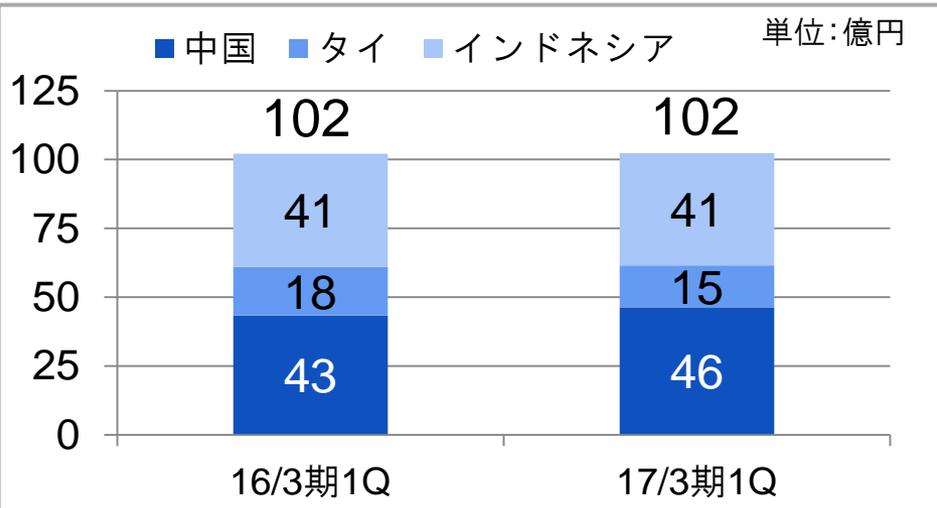
- スロバキア工場立上げに伴う先行費用(△1億円)

\* GPF: グローバルプラットフォーム(車台共通化を伴う全世界向けモデル)

# 2017年3月期1Q：各地域の状況

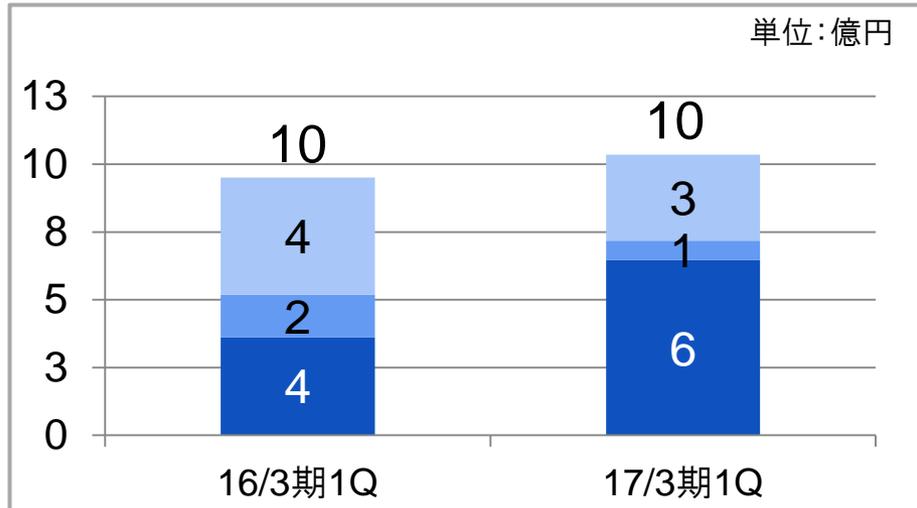
## アジア(中国・タイ・インドネシア)

### 売上高



- 中国:  
日産向けGPF車とスズキ向け受注増(+7億円)  
為替換算影響(△4億円)
- タイ:  
補修品ビジネス(△1億円)  
為替換算影響(△2億円)
- インドネシア:  
日産ルノー(欧州)向けGPF車と二輪の受注増(+3億円)  
為替換算影響(△3億円)

### 営業利益

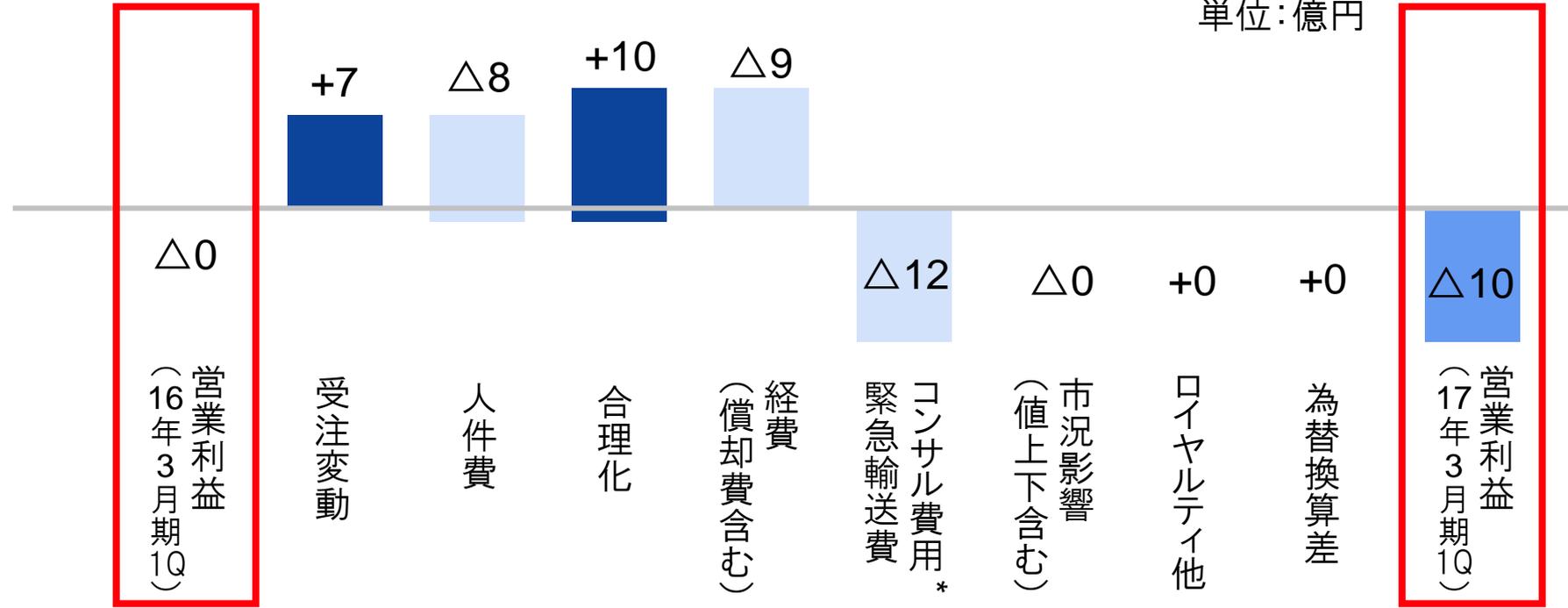


- 中国:  
受注増・構成変化影響(+4億円)  
受注増に伴う労務費・償却費(△1億円)  
為替換算影響(△1億円)
- タイ:  
受注減と摩擦材原料高騰影響(△1億円)
- インドネシア:  
材料費高騰と新規立上げコスト(△1億円)

# 2017年3月期1Q： 営業利益増減分析(対前年同期差)

米国コンサルタント費用等の影響大きく営業損益は△10億円

単位：億円



日本	6	△3	+2	+3	+0		+0	△1		7
米国	△15	+8	△9	+4	△5	△12		+2	+1	△25
メキシコ	△1	△0	+0	+1	△1		△0	+0	+0	△1
欧州	△2	△1	△0	+2	△1		+0	△0	+0	△3
アジア	10	+4	△1	+0	△1		△0	△0	△1	10
連結消去	1	+0								1

\* 緊急輸送費△2億円: ABCS(コロンビア工場)設備故障による緊急輸送、コンサル費用△10億円

# 2017年3月期1Q：営業利益から四半期純利益まで

為替差損影響により、四半期純利益△31億円

2016年3月期1Q

主な勘定

営業利益

△0

営業外収支△3

支払利息	△ 4
為替差益	+ 1
受取配当金	+ 2
開業費	△ 1
その他	△ 1

経常利益

△3

特別損益 +0

固定資産売却益・売廃却損 +0

税前四半期純利益\*1 △ 3

法人税・住民税・事業税	△ 6
法人税等調整額	+ 0
非支配株主当期利益	△ 2

四半期純利益\*2

△ 11

\*1:税金等調整前四半期純利益

\*2:親会社株主に帰属する四半期純利益

2017年3月期1Q

主な勘定

単位:億円

営業利益

△ 10

営業外収支 △12

支払利息	△ 3
為替差損	△ 7
受取配当金	+ 1
開業費	△ 1
その他	△ 2

経常利益

△ 23

特別損益 +0

固定資産売却益・売廃却損 +0

税前四半期純利益\*1 △ 22

法人税・住民税・事業税	△ 5
法人税等調整額	△ 1
非支配株主当期利益	△ 2

四半期純利益\*2

△ 31

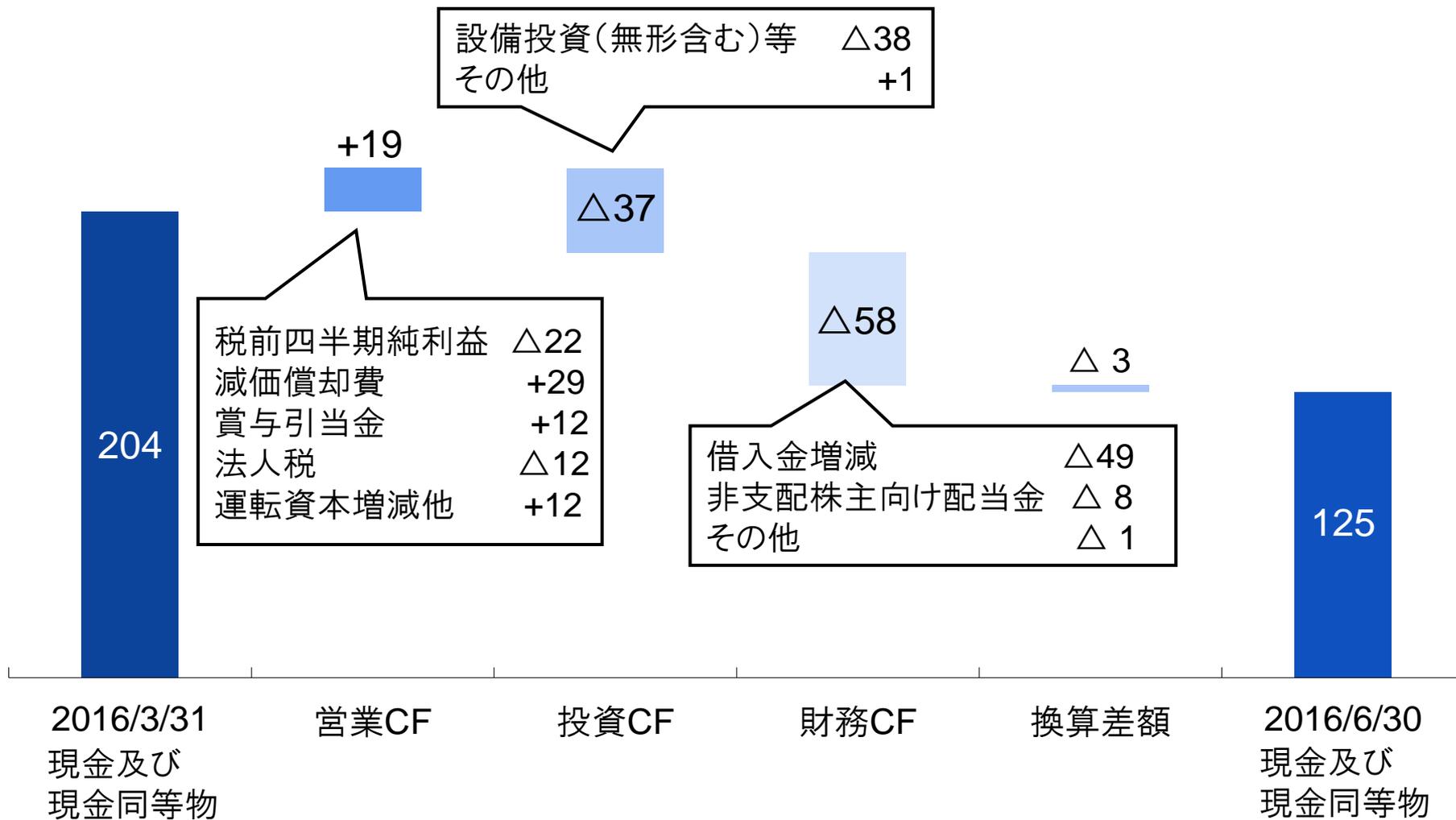
\*1:税金等調整前四半期純利益

\*2:親会社株主に帰属する四半期純利益

# 2017年3月期1Q： キャッシュ・フロー

営業CF +19億円、投資CF△37億円、財務CF △58億円

単位：億円



# 2017年3月期1Q：研究開発費、設備投資/償却費

投資は新規立上げ・増産対応で計画比増加(25%の進捗)

## 研究開発費

単位：億円

	16年3月期 1Q実績	17年3月期 1Q実績	17年3月期 通期計画
研究開発費	28	27	115

※製品の適用開発に関連する費用も含めております。

## 17年3月期1Q 先行開発案件

- ・電動ブレーキ
- ・次世代HPブレーキ\*
- ・環境対応型摩擦材(銅フリー・耐熱摩擦材)
- ・インフラ&モビリティ用ブレーキ
- ・次世代ディスクブレーキ
- ・軽量化・低引摺り要素技術開発

## 設備投資・減価償却費

単位：億円

	16年3月期 1Q実績	17年3月期 1Q実績	17年3月期 通期計画
設備投資	56	38	150
減価償却費	31	29	115

## 17年3月期1Q 主要設備投資案件

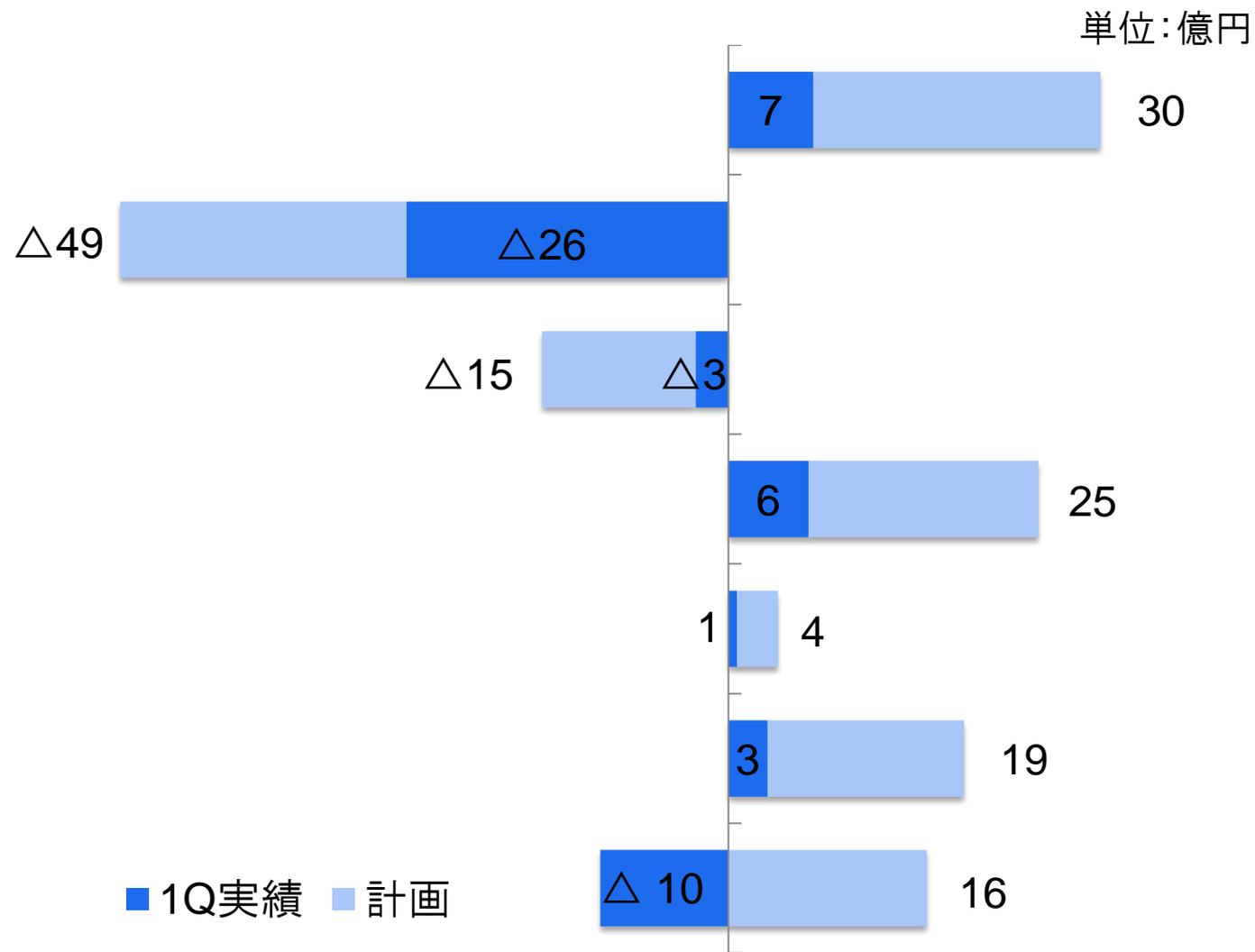
- ・HPブレーキ\*生産設備
- ・生産能力の増強
- ・研究開発設備・インフラ
- ・次期モデル対応

\* HPブレーキ：高性能量販車向けブレーキ

# 2017年3月期1Q：通期予想に対する進捗状況

通期営業利益予想16億円に対し、1Q実績△10億円

- 日本
- 北米
- 欧州
- 中国
- タイ
- インドネシア
- 連結

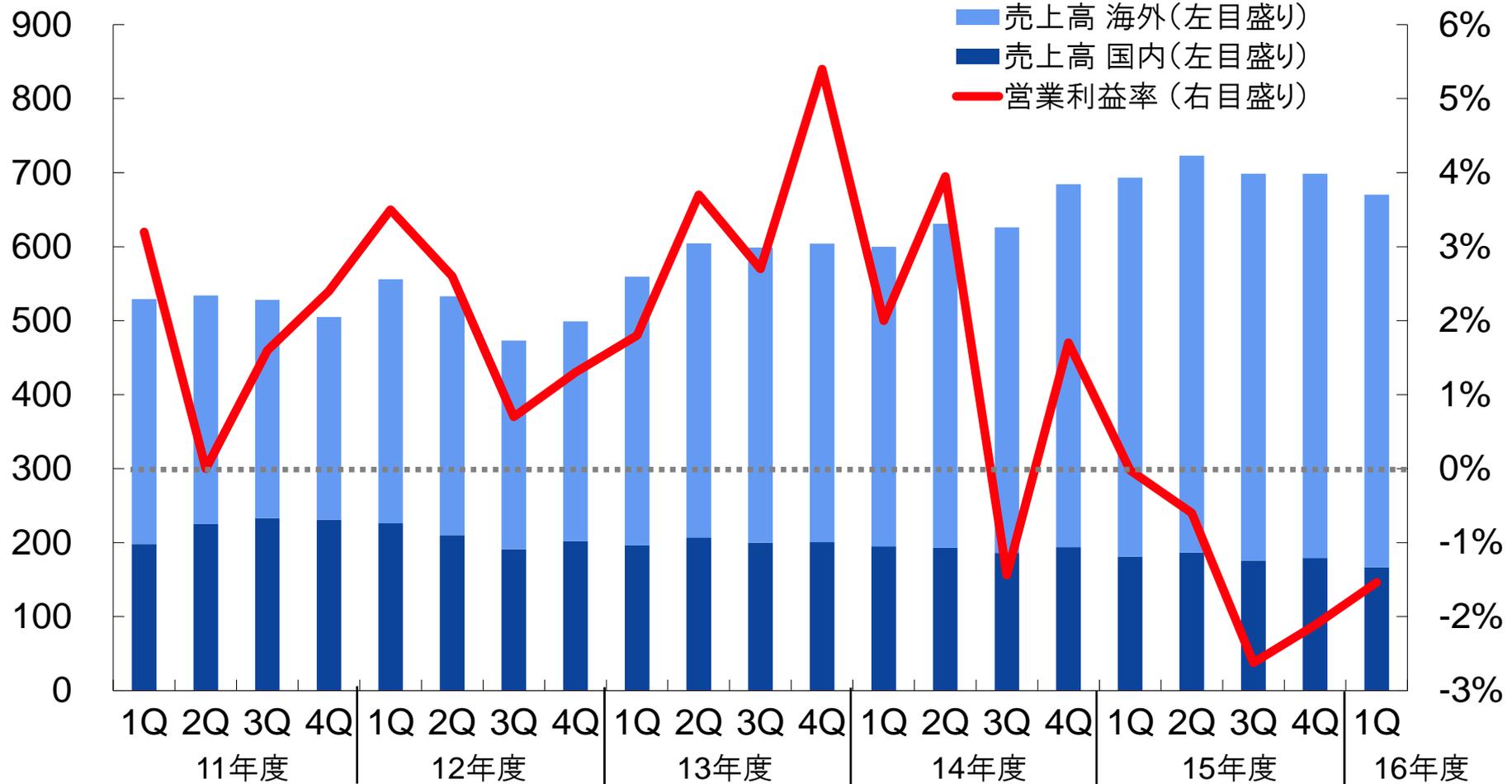


# 添付資料

# (参考1)売上高と営業利益率のトレンド(連結)

北米生産混乱が収束に向かい利益率は改善傾向

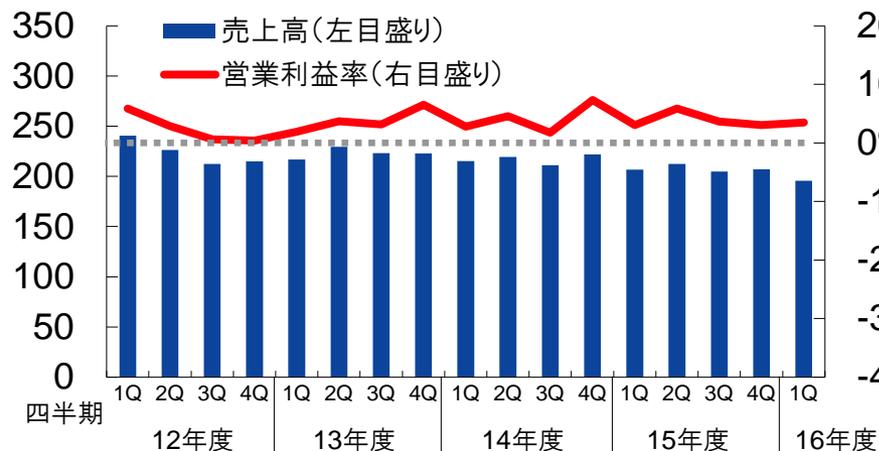
単位:億円



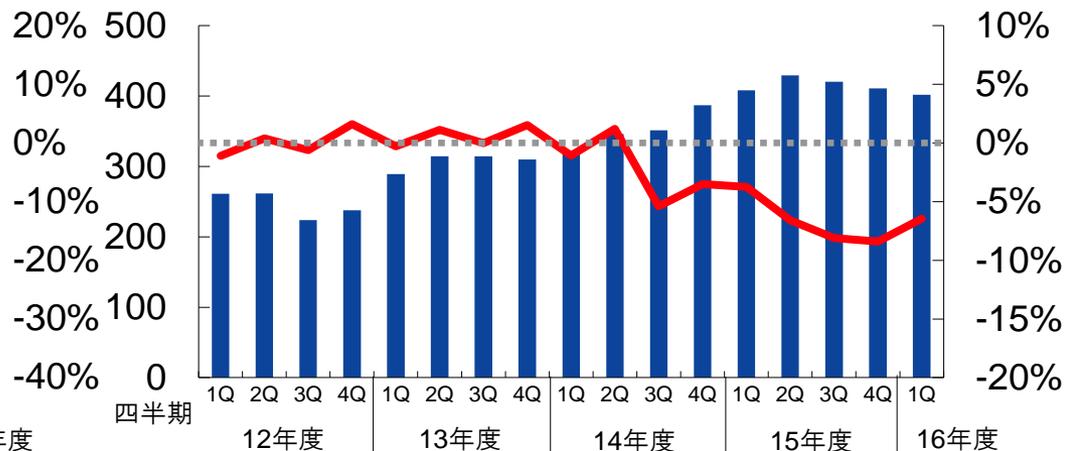
# (参考2)売上高と営業利益率のトレンド(地域別)

## 四半期毎の売上高と営業利益率

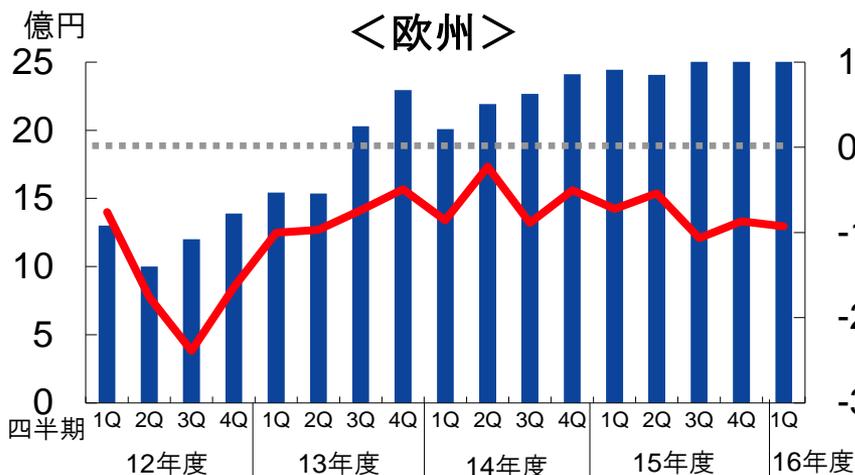
億円 <日本>



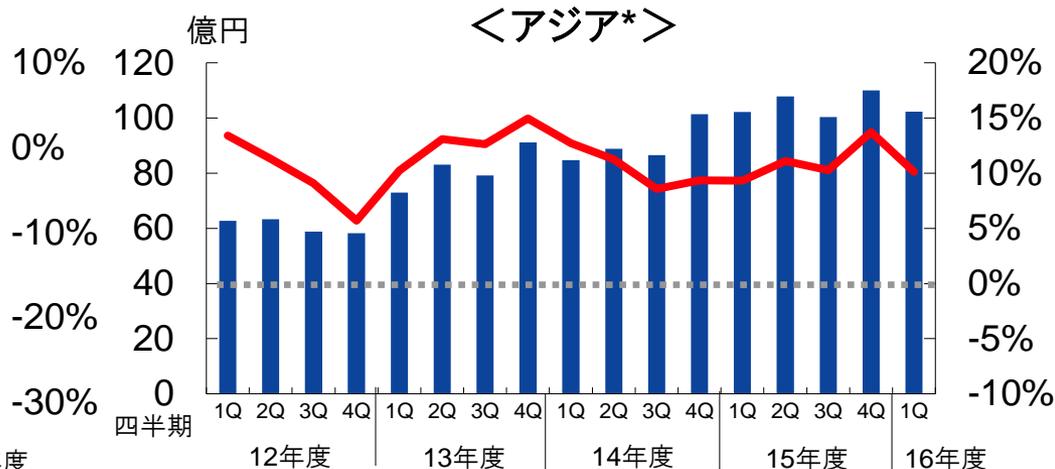
億円 <北米>



億円 <欧州>



億円 <アジア\*>

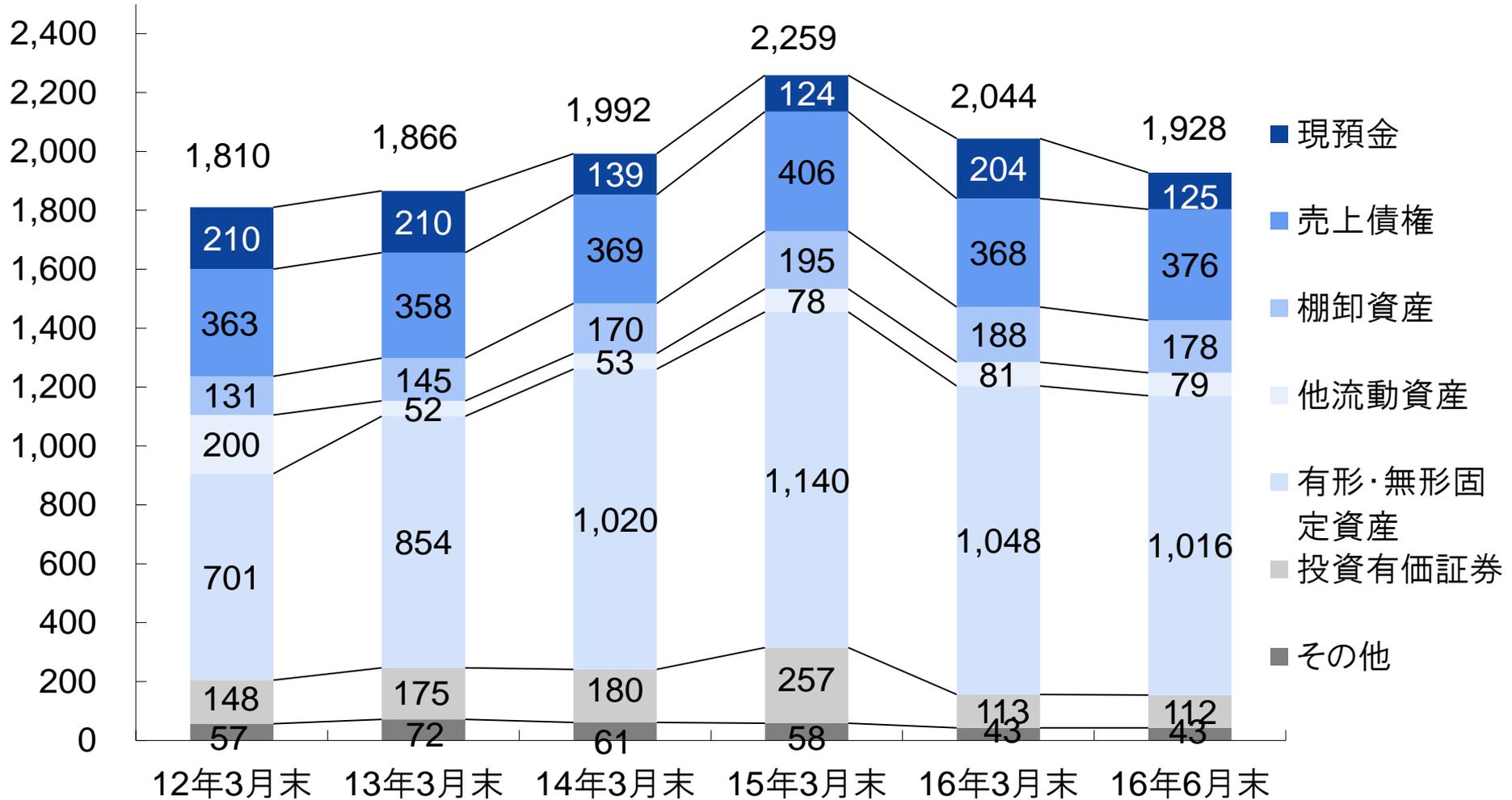


\*アジアについては、従来アジア内で消去される金額を減算し表示しておりましたが、決算短信セグメント情報にあわせ単純合算の表示に変更しております。

# (参考3) 貸借対照表

## 資産の部：現預金、棚卸資産、固定資産減少

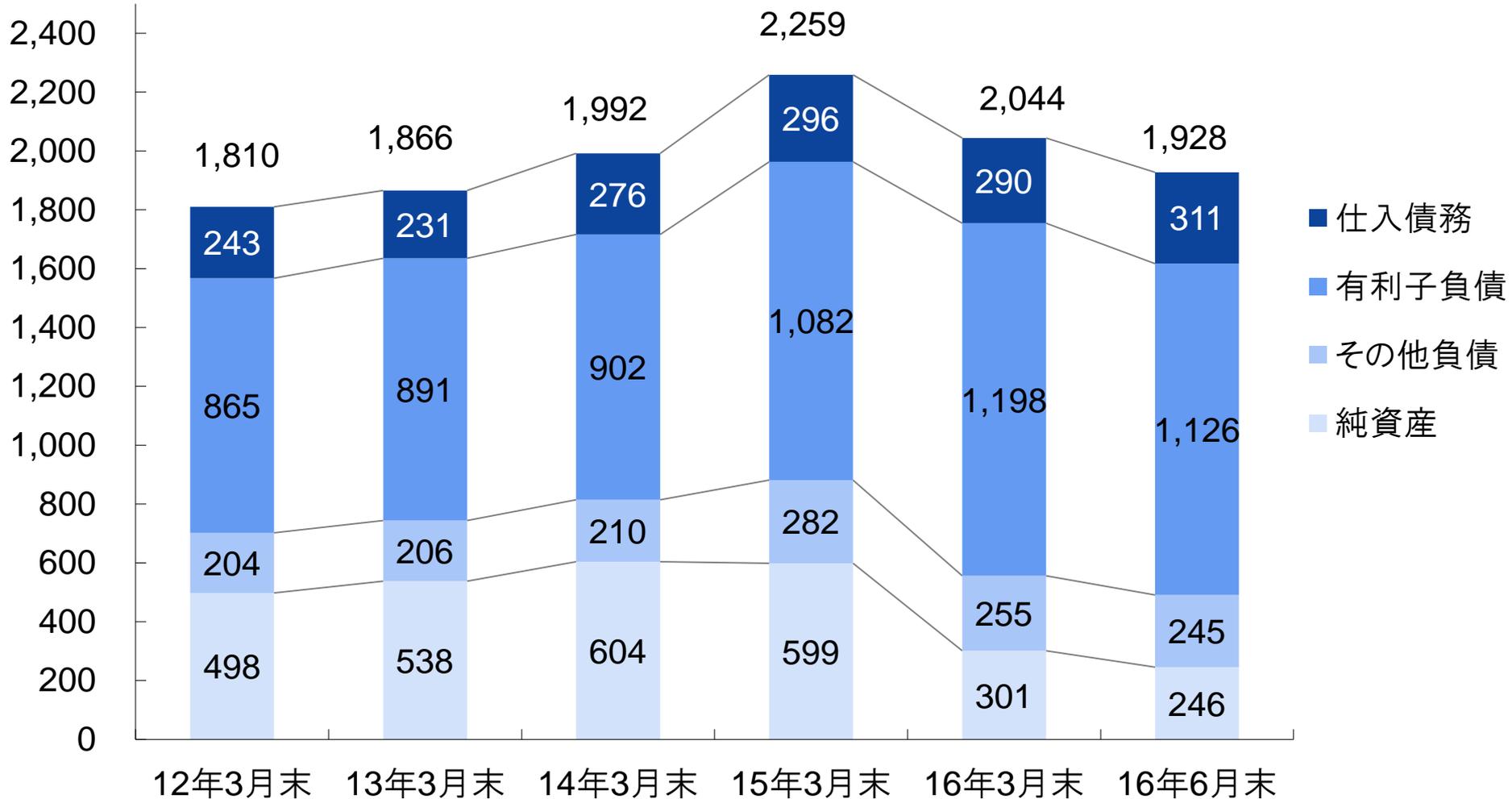
単位：億円



# (参考4) 貸借対照表

## 負債・純資産の部:仕入債務以外は減少

単位:億円

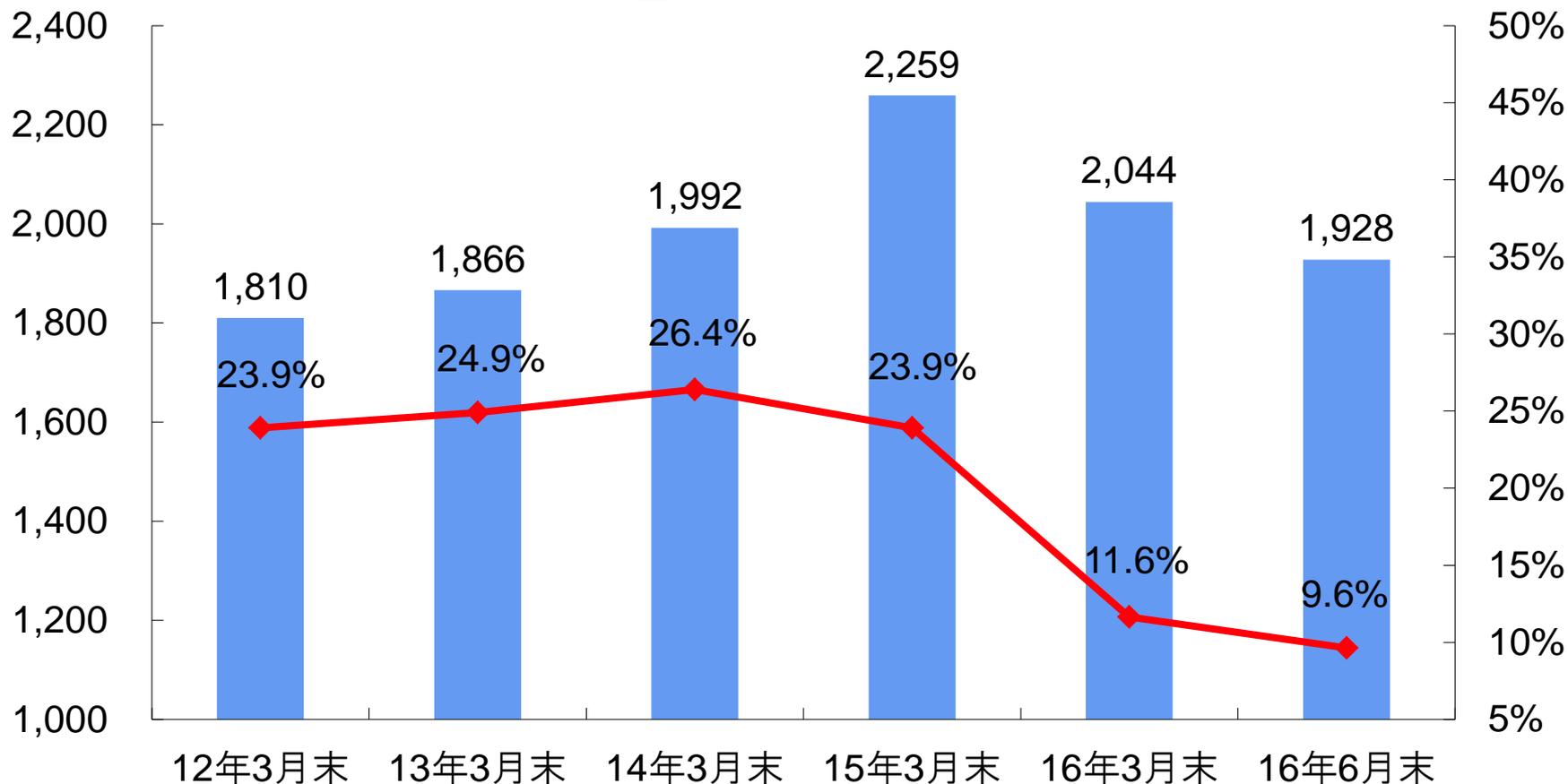


# (参考5) 総資産/自己資本比率

四半期純損失等により自己資本比率は9.6%に低下

単位: 億円

■ 総資産(左目盛り)  
◆ 自己資本比率(右目盛り)



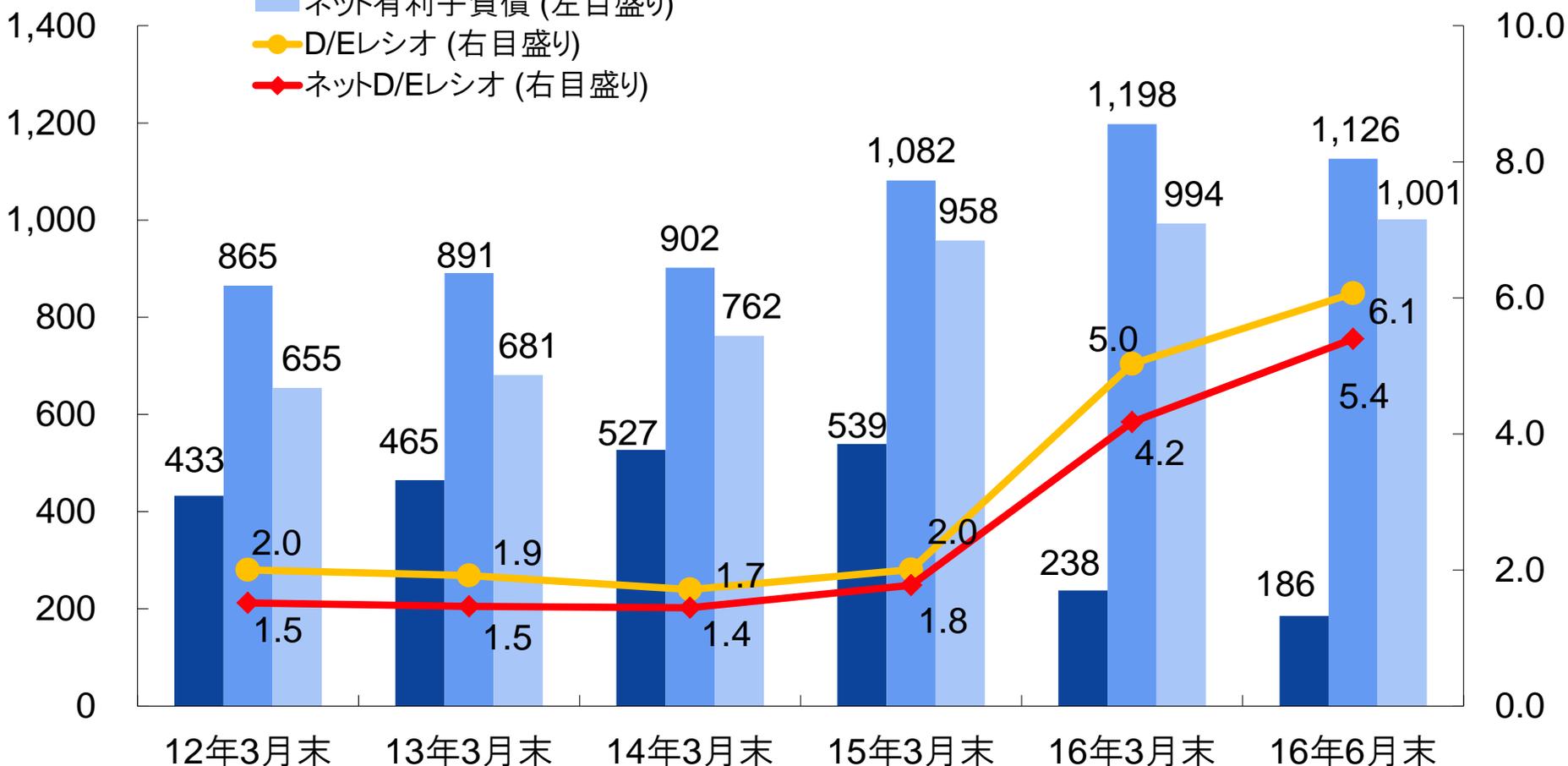
# (参考6) 自己資本/有利子負債の推移

## 自己資本の減少でネットD/Eレシオは5.4倍に

単位:億円

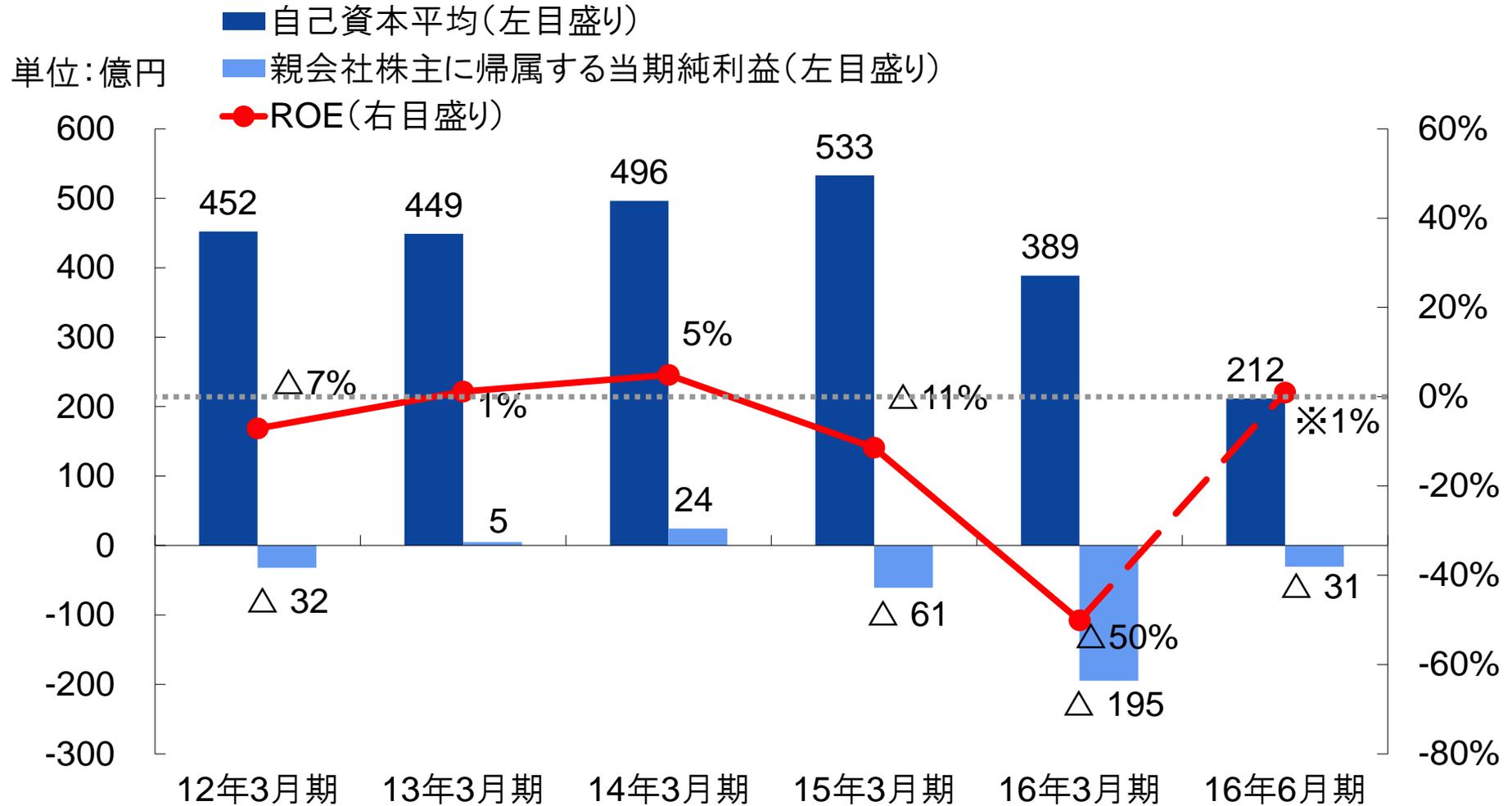
単位:倍

- 自己資本 (左目盛り)
- 有利子負債 (左目盛り)
- ネット有利子負債 (左目盛り)
- D/Eレシオ (右目盛り)
- ◆ ネットD/Eレシオ (右目盛り)



# (参考7) 自己資本利益率ROEの推移

## ROEは改善傾向



※16年6月期ROEは、17年3月期親会社株主に帰属する当期純利益の通期業績予想2億円を基に計算しております。

業績見込み等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいた予測であり、実際の業績は当社グループをとりまく経営環境の変化、市場の動向、為替の変動等の様々な要因によりこれらの記述とは大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。